

資料目録Ⅲ

新村猛関係資料目録

奥村旅人*・須永哲思**
福家崇洋***・藤野志織****

【凡例】

- ・新村猛関係資料は新村猛のご子息にあたる新村恭氏の所蔵である。
- ・資料は予め書簡と書類に分けて整理されて、封筒毎に収録されていたため、この秩序を尊重して資料1点ごとのデータを並び順に作成した。
- ・書簡篇は資料が入っている封筒名、資料の作成年月日、資料名、作成者、宛先を記載した。
書類篇は資料が入っている封筒名、資料の作成年月日、資料名、作成者、発行者を記載した。
- ・資料名、作成年月、作成者、発行者、宛先とも明確な表記が資料に記載されている場合はそれを記載し、されてない場合は亀甲括弧で目録作成者が記載した。
- ・備考欄には資料に関する情報を目録作成者が記載した。

* おくむら たかひと 京都大学大学院教育学研究科

** すなが さとし 京都大学人文科学研究所

*** ふけ たかひろ 京都大学人文科学研究所

**** ふじの しおり 京都大学人文科学研究所

資料目録Ⅲ：新村猛関係資料目録（書簡篇）

資料 No	封筒名	年 月 日	タイトル	作成者/発行者	宛 先	備 考
L-1	和田洋一(1)	1973 7 26	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-2	和田洋一(1)	1977 2 6	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-3	和田洋一(1)	1978 7 6	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-4	和田洋一(1)	1978 1 26	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-5	和田洋一(1)	1977 6 10	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-6	和田洋一(1)	1980 1 13	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-7	和田洋一(1)	1978 7 19	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-8	和田洋一(1)	1982 4 15	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-9	和田洋一(1)	1982 4 14	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-10	和田洋一(1)	1971 10 22	〔新村猛宛日本ルーミーニア友好協会京都支部編成準備会代表 準備会代表 新村猛、和田洋一、岩井忠熊書簡〕	日本ルーミーニア友好協会京都支部編成準備会代表 新村猛、和田洋一、岩井忠熊	新村猛	
L-11	和田洋一(1)	1973 1 19	〔題書〕	日本ルーミーニア友好協会大阪支部編成世話人一同		年はママ。 書き込みあり。
L-12	和田洋一(1)		〔ケルギウ第一副会長長寿強プログラム決定〕			
L-13	和田洋一(1)	1971 10 18	〔ルーミーニア民芸品バザー〕	日本ルーミーニア友好協会		
L-14	和田洋一(1)	1974 6 1	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-15	和田洋一(1)	1957 10 10	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-16	和田洋一(1)	1980 6 20	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-17	和田洋一(1)	1980 5 13	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-18	和田洋一(1)	1978 1 1	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-19	和田洋一(1)	1980 1 31	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-20	和田洋一(1)	1980 1 27	〔原稿のおおがわい〕	能勢勇男先生追悼集出版実行委員会代表 和田洋一		
L-21	和田洋一(1)	1959 5 23	〔Mr. T. Shimura 宛 Yochi Wada 書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-22	和田洋一(1)	1959 3 26	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-23	和田洋一(1)	1959 4 7	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-24	和田洋一(1)	1978 7 29	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-25	和田洋一(2)	1979 11 17	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-26	和田洋一(2)	1980 6 12	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-27	和田洋一(2)	1973 8 4	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-28	和田洋一(2)	1965 6 20	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-29	和田洋一(2)	1981 3 3	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-30	和田洋一(2)	1980 12 26	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-31	和田洋一(2)	1976 8 16	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-32	和田洋一(2)	1977 12 19	〔新村猛宛和田洋一葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-33	和田洋一(2)	1978 3 27	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-34	和田洋一(2)	8 22	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-35	和田洋一(2)	1975 6 19	〔「世界文化」復刻版世話人新村猛、富岡益五郎、 和田洋一書簡〕	〔「世界文化」復刻版世話人新村猛、富岡益五郎、 和田洋一〕		
L-36	和田洋一(2)	1973 6 11	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-37	和田洋一(2)	1973 3 10	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-38	和田洋一(2)	1977 1 22	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-39	和田洋一(2)	4 4	〔Mr. T. Shimura 宛 Yochi Wada 葉書〕	和田洋一	新村猛	
L-40	和田洋一(2)	4 4	〔新村猛宛和田洋一書簡〕	和田洋一	新村猛	
L-41	和田洋一(2)	1973 3 25	〔全国民に水本事件を訴える 速報Ⅳ〕	水本事件の真相を究明する会		
L-42	山田篤・平田藤治・柏瀬清一郎	1959 5 18	〔新村猛宛平田藤治書簡〕	平田藤治	新村猛	

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

L-43	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	5 17	[新村猛宛柏瀬清一郎書簡]	柏瀬清一郎	新村猛
L-44	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	5 18	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-45	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	6 22	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-46	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	6 22	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-47	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎			[Les Grands Decevains Français]		
L-48	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1964	6 29	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-49	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1964	7 14	[新村猛宛柏瀬清一郎書簡]	柏瀬清一郎	新村猛
L-50	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1965	10 18	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-51	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	12 15	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-52	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	12 15	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-53	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎		6 16	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-54	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎			[Les textes français, ed. Belles Lettres.]		
L-55	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	4 20	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-56	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	4 20	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-57	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	1 9	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-58	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎			[1. 28日到着のBibliobèque Nationale inventaires]		
L-59	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959		[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-60	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	2 9	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-61	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	1 27	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-62	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1959	1 27	[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-63	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎			[四書計算表]		
L-64	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958	10 30	[新村猛宛平田謙治書簡]	平田謙治	新村猛
L-65	山川篤・平田謙治・柏瀬清一郎	1958		[新村猛宛山川篤書簡]	山川篤	新村猛
L-66	交野貞祐	1968	1 13	[新村猛宛野貞祐書簡]	大野貞祐	新村猛
L-67	久保利謙	1983	11 26	[新村猛宛久保利謙書簡]	久保利謙	新村猛
L-68	朴秀鴻	1978	7 3	[新村猛宛朴秀鴻書簡]	朴秀鴻	新村猛
L-69	工藤好美	1969	8 25	[新村猛宛工藤好美書簡]	工藤好美	新村猛
L-70	大河内昭子	1977	10 29	[新村猛宛大河内昭子書簡]	大河内昭子	新村猛
L-71	大河内昭子			[吐月庵 祭服等]		
L-72	斎藤茂吉	1977	10 7	[新村猛宛斎藤茂吉封筒]	斎藤茂吉	新村猛
L-73	野上菜一	1965	3 4	[新村猛宛野上菜一書簡]	野上菜一	新村猛
L-74	副島種典	1977	2	[新村猛宛副島種典書簡]	副島種典	新村猛
L-75	副島種典	1977	3 11	[新村猛宛副島種典書簡]	副島種典	新村猛
L-76	加藤龍太郎	1958	2 6	[新村猛宛加藤龍太郎書簡]	加藤龍太郎	新村猛
L-77	加藤龍太郎	1969	8 25	[新村猛・泰子宛加藤龍太郎・さだ書簡]	加藤龍太郎・さだ	新村猛・泰子
L-78	加藤龍太郎	6 23		[新村猛宛加藤龍太郎書簡]	加藤龍太郎	新村猛
L-79	平野義太郎	1959	5 26	[新村猛宛平野義太郎書簡]	平野義太郎	新村猛
L-80	平野義太郎	1959	4	[新村猛宛吉川勇一・津島沙書簡]	吉川勇一・津島沙	新村猛
L-81	中野好夫	1982	2 24	[新村猛宛中野好夫書簡]	中野好夫	新村猛
L-82	阿部知二	1966	9 12	[新村猛宛阿部知二書簡]	阿部知二	新村猛
L-83	安井郁	1965		[新村猛宛安井郁書簡]	安井郁	新村猛
L-84	安井郁	1965	8 6	[「庄島・長崎原爆襲撃二十周年記念日を迎えて」]	安井郁	新村猛
L-85	小林英夫	1961	6 2	[新村猛宛小林英夫書簡]	小林英夫	新村猛
L-86	高木市之助	1967	1	[新村猛宛高木市之助書簡]	高木市之助	年賀。
L-87	早乙女勝元	1974	1	[新村猛宛早乙女勝元書簡]	早乙女勝元	年賀。
L-88	今西節司	1974	1 1	[新村猛宛今西節司書簡]	今西節司	年賀。
L-89	黒田了一	1974	1 1	[新村猛宛黒田了一書簡]	黒田了一	年賀。
L-90	黒田了一	1976	7 29	[新村猛宛黒田了一書簡]	黒田了一	新村猛

人 文 学 報

L-91	長嶋広次	1967	11	1	(新村猛宛長嶋広次葉書)			新村猛
L-92	長嶋広次	1983	11	12	(新村猛宛長嶋広次葉書)			新村猛
L-93	長嶋広次				(絵葉書)			
L-94	長嶋広次	1974	11	9	(新村猛宛長嶋広次葉書)			新村猛
L-95	長嶋広次	1967	5	18	(新村猛宛長嶋広次葉書)			新村猛
L-96	渡辺一夫	1971	8	2	(新村猛宛渡辺一夫葉書)			新村猛
L-97	渡辺一夫	1948	10	23	(新村猛宛渡辺一夫葉書)			新村猛
L-98	国原吉之助	1969	7	15	(新村猛宛国原吉之助葉書)			新村猛
L-99	国原吉之助	1965	4	1	(新村猛宛国原吉之助葉書)			新村猛
L-100	宮本正清	1959	12	12	(新村猛宛宮本正清葉書)			新村猛
L-101	宮本正清		8	28	(新村猛宛宮本正清葉書)			新村猛
L-102	宮本正清	1976	2	18	(新村猛宛宮本正清葉書)			新村猛
L-103	宮本正清	1975	9	23	(新村猛宛宮本正清葉書)			新村猛
L-104	中野伸逸	1981	11	18	(新村猛宛 S. NAKANO 葉書)			新村猛
L-105	中野伸逸	1977	11	12	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-106	中野伸逸	1977	11	6	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-107	中野伸逸	1980	6	15	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-108	中野伸逸	1980	12	15	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-109	中野伸逸	1982	1	4	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-110	中野伸逸	1980	9	8	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-111	中野伸逸				(新村猛宛中野伸逸葉書)			年賀。
L-112	中野伸逸	1966	11	20	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-113	中野伸逸	1977	9	8	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-114	中野伸逸	1978	1	14	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-115	中野伸逸	1982	4	28	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-116	中野伸逸	1982	11	17	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-117	中野伸逸	1984	10	9	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-118	中野伸逸	1982	10	2	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-119	中野伸逸	1982	8		(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-120	中野伸逸	1982	2	8	(新村猛宛中野伸逸葉書)			年賀。
L-121	中野伸逸	1982	7	8	(新村猛宛中野伸逸葉書)			新村猛
L-122	静間良次				(新村猛宛静間良次葉書)			新村猛
L-123	静間良次	1961	8	12	(新村猛宛静間良次葉書)			新村猛
L-124	静間良次	1970	12	13	(新村猛宛静間良次葉書)			新村猛
L-125	堀水鏡	1994	8	10	(新村養子宛堀水鏡葉書)			新村養子
L-126	堀水鏡	1965	5	25	(新村猛宛堀水鏡葉書)			新村猛
L-127	堀水鏡	1994	4	27	(新村猛宛堀水鏡葉書)			新村猛
L-128	堀水鏡	1957	10	26	(新村猛宛堀水鏡葉書)			新村猛
L-129	堀水鏡	1966	1	4	(新村猛宛堀水鏡葉書)			年賀。
L-130	堀水鏡	1963	1	1	(新村猛宛堀水鏡葉書)			年賀。
L-131	堀水鏡	1957	8	20	(新村猛宛堀水鏡葉書)			新村猛
L-132	堀水鏡	1969	1	1	(新村猛宛秀鴻葉書)			新村猛
L-133	寿岳童子	1976	3	21	(新村猛宛寿岳童子葉書)			寿岳童子
L-134	寿岳童子	1976	9	1	(新村猛宛寿岳童子葉書)			寿岳童子
L-135	寿岳童子	1979	11	27	(新村猛宛寿岳童子葉書)			寿岳童子
L-136	寿岳童子	1992	5	3	(新村猛宛寿岳童子葉書)			寿岳童子
L-137	寿岳文章	1969	7	7	(新村猛宛寿岳文章葉書)			寿岳文章

支書には3月5日とあるが、封筒には「一九九二・五・三まごやに於て」との記述あり。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

L-138	寿岳文章	1964	4	5	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-139	寿岳文章	1966	6	9	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-140	寿岳文章	1966	7	24	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-141	寿岳文章	1982	1	3	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-142	寿岳文章	1971	2	9	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-143	寿岳文章	1962	10	9	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-144	寿岳文章	1963	4	4	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-145	寿岳文章	1962	9	4	(新村猛宛寿岳文章書簡)	寿岳文章	新村猛
L-146	佐々木時雄	1970	4	20	(新村猛宛佐々木時雄書簡)	佐々木時雄	新村猛
L-147	佐々木時雄	1972	5	26	(新村猛宛佐々木時雄書簡)	佐々木時雄	新村猛
L-148	佐々木時雄	1969	2	2	(新村猛宛佐々木時雄書簡)	佐々木時雄	新村猛
L-149	斎藤寿一・熊子	(新村猛宛斎藤寿一・熊子書簡)				斎藤寿一・熊子	新村猛、御政様
L-150	兼子照江	(新村猛宛兼子照江書簡)				兼子照江	
L-151	田隆	(新村猛宛田隆書簡)	1968	12	14	田隆	新村猛
L-152	桑原武夫	(新村猛宛桑原武夫書簡)	1957	6	9	桑原武夫	新村猛
L-153	横山利秋	(新村猛宛横山利秋書簡)	1969	8	13	横山利秋	新村猛
L-154	田畑忍	(新村猛宛田畑忍書簡)	1959	12	22	田畑忍	新村猛
L-155	田畑忍	(新村猛宛田畑忍書簡)	1969	8	19	田畑忍	新村猛
L-156	田畑忍	(新村猛宛田畑忍書簡)	1957	5	27	田畑忍	新村猛
L-157	田畑忍	(新村猛宛田畑忍書簡)	1988	10	20	田畑忍	新村猛
L-158	湯川スミ	(新村猛宛湯川スミ書簡)	10	1		湯川スミ	新村猛
L-159	湯川スミ	(新村猛宛湯川スミ書簡)	1977	2	15	久保文	新村猛
L-160	久保文	(新村猛宛久保文書簡)	1981	1	11	森龍市郎	新村猛
L-161	森龍市郎	(新村猛宛森龍市郎書簡)	1973	3	25	森龍市郎	新村猛
L-162	藤原惟人	(新村猛宛藤原惟人書簡)	12	20		大山柳子	新村猛
L-163	大山柳子	(新村猛宛大山柳子書簡)	1962	1	21	内田レフ	新村猛
L-164	内田レフ	(新村猛宛内田レフ書簡)	1995	2	22	米川良夫	新村泰子
L-165	泰子宛	(新村泰子宛米川良夫書簡)	1995	3	11	林大	新村泰子
L-166	泰子宛	(新村泰子宛林大書簡)	1990	2	22	神保登代	新村泰子
L-167	泰子宛	(新村泰子宛神保登代書簡)	3	31		久野芳子	新村泰子
L-168	泰子宛	(新村泰子宛久野芳子書簡)	1994	5	23	伊原節子	新村泰子
L-169	泰子宛	(新村泰子宛伊原節子書簡)	1995	2	27	伊谷純一郎	新村泰子
L-170	泰子宛	(新村泰子宛伊谷純一郎書簡)	1995	9	6	堀水瀧	新村泰子
L-171	泰子宛	(新村泰子宛堀水瀧書簡)	1995	3	10	高野悦子	新村泰子
L-172	泰子宛	(新村泰子宛高野悦子書簡)	1966	3	14	北山茂夫	新村猛・泰子
L-173	北山茂夫	(新村猛・泰子宛北山茂夫書簡)	1954	11	19	北山茂夫	新村猛
L-174	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1957	5	17	北山茂夫	新村猛
L-175	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1957	3	22	北山茂夫	新村猛
L-176	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1958	8	4	北山茂夫	新村猛
L-177	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1969	7	29	北山茂夫	新村猛
L-178	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1968	8	20	北山茂夫	新村猛
L-179	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1956	9	28	北山茂夫	新村猛
L-180	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1956	10	20	北山茂夫	新村猛
L-181	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1956	10	13	北山茂夫	新村猛
L-182	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1956	10	3	北山茂夫	新村猛
L-183	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1969	8	18	北山茂夫	新村猛
L-184	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)	1957	3	11	北山茂夫	新村猛
L-185	北山茂夫	(新村猛宛北山茂夫書簡)					

L-186	北山茂夫	1956	8	10	(新村猛宛北山茂夫書簡)	北山茂夫	新村猛
L-187	北山茂夫	1956	10	10	(新村猛宛北山茂夫書簡)	北山茂夫	新村猛
L-188	北山茂夫	1957	8	13	(新村猛宛北山茂夫書簡)	北山茂夫	新村猛
L-189	吉川勇一	1964	9	19	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-190	吉川勇一	1964	10	23	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-191	吉川勇一	1964	10	23	[世界平和評議会プレチイン日本語版 発行計画(案)]		
L-192	吉川勇一	1964	11	12	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-193	吉川勇一	1964	10	29	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-194	吉川勇一	1964	10	7	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-195	吉川勇一	1964	12	2	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-196	吉川勇一	1981	11	15	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-197	吉川勇一	1981	10	3	(新村猛宛吉川勇一書簡)	吉川勇一	新村猛
L-198	蛇原徳夫	1965	6	12	(新村猛宛蛇原徳夫書簡)	蛇原徳夫	新村猛
L-199	安斎吾郎	1984	3	21	(新村猛宛安斎吾郎書簡)	安斎吾郎	新村猛
L-200	前島儀一郎	1967	8	27	(新村猛宛前島儀一郎書簡)	前島儀一郎	新村猛
L-201	畑田重夫	1962	10	7	(新村猛宛畑田重夫書簡)	畑田重夫	新村猛
L-202	畑田重夫	1967	9	1	(新村猛宛畑田重夫書簡)	畑田重夫	新村猛
L-203	畑田重夫	1962	10	21	(新村猛宛畑田重夫書簡)	畑田重夫	新村猛
L-204	タカクラテ	1973	12	25	(新村猛宛タカクラテ書簡)	タカクラテ	新村猛
L-205	タカクラテ	1977	3	2	(新村猛宛タカクラテ書簡)	タカクラテ	新村猛
L-206	タカクラテ	1980	2	7	(新村猛宛タカクラテ書簡)	タカクラテ	新村猛
L-207	タカクラテ	1980	3	5	(新村猛宛タカクラテ書簡)	タカクラテ	新村猛
L-208	宗像謙也	1962	9	3	(新村猛宛宗像謙也書簡)	宗像謙也	新村猛
L-209	佐藤輝夫	1981	12	14	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-210	佐藤輝夫	1978	11	4	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-211	佐藤輝夫	1963	3	3	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-212	佐藤輝夫	1971	8	7	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-213	佐藤輝夫	1974	10	27	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-214	佐藤輝夫	1979	11	5	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-215	佐藤輝夫	1976	4	14	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-216	佐藤輝夫	1975	11	19	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-217	佐藤輝夫	1965	12	24	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-218	佐藤輝夫	1968	2	12	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-219	佐藤輝夫	1979	9	3	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-220	佐藤輝夫	1972	6	15	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-221	佐藤輝夫	1973	9	19	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-222	佐藤輝夫	1982	1	12	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-223	佐藤輝夫	1981	6	1	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-224	佐藤輝夫	1984			(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-225	佐藤輝夫	1982	7	1	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-226	佐藤輝夫	1977	12	6	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-227	佐藤輝夫	1973	10	8	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-228	佐藤輝夫		2	19	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-229	佐藤輝夫	1975	4	27	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-230	佐藤輝夫	1957	4	3	(新村猛宛佐藤輝夫書簡)	佐藤輝夫	新村猛
L-231	鎌田定夫 信子	1977	12	20	(新村猛宛鎌田定夫書簡)	鎌田定夫	新村猛
L-232	鎌田定夫 信子	1977	10	15	(新村猛宛鎌田定夫書簡)	鎌田定夫	新村猛

「世界平和運動資料 No.1」の表紙見本付き。

年月日スタンプ不判明。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

L-223	鎌田定夫 信子	7	22	(新村猛宛鎌田定夫葉書)	鎌田定夫	新村猛
L-234	鎌田定夫 信子	1977	11	24	(新村猛宛鎌田定夫葉書)	新村猛
L-235	鎌田定夫 信子	1978	1	30	(新村猛宛鎌田定夫葉書)	新村猛
L-236	沼田秀郷	1974	1	23	(新村猛宛沼田秀郷葉書)	新村猛
L-237	沼田秀郷	1974	7	11	(新村猛宛沼田秀郷葉書)	新村猛
L-238	沼田秀郷	1978	8	3	(新村猛宛沼田秀郷葉書)	新村猛
L-239	沼田秀郷	1981	11	7	(新村猛宛沼田秀郷葉書)	新村猛
L-240	福島要一	1977	12	1	(新村猛宛福島要一葉書)	新村猛
L-241	福島要一	1989	9	20	(新村猛宛福島要一葉書)	新村猛
L-242	江上不二夫	1977	6	26	(新村猛宛江上不二夫葉書)	新村猛
L-243	佐藤朝	1983	10	30	(新村猛宛佐藤朝葉書)	新村猛
L-244	佐藤朝	1987	2	21	(新村猛宛佐藤朝葉書)	新村猛
L-245	佐多稻子	4	7	(新村猛宛佐多稻子葉書)	新村猛	
L-246	野坂参三	1978	10	27	(新村猛宛野坂参三葉書)	新村猛
L-247	日高六郎	1983	7	25	(新村猛宛日高六郎葉書)	新村猛
L-248	河原好藏	1983	6	10	(新村猛宛河原好藏葉書)	新村猛
L-249	荒正人	1970	2	17	(新村猛宛荒正人葉書)	新村猛
L-250	柳越英一	1975	9	1	(新村猛宛柳越英一葉書)	新村猛
L-251	外山雄三	1987	11	25	(新村猛宛外山雄三葉書)	新村猛
L-252	田沼武徳	1988	12	20	(新村猛宛田沼武徳葉書)	新村猛
L-253	ROMANIAN INSTITUTE	1978	2	4	(新村猛宛 ROMANIAN INSTITUTE 葉書)	新村猛
L-254	大橋満子	1956	10	5	(新村猛宛大橋満子葉書)	新村猛
L-255	大橋満子	1956	9	29	(新村猛宛大橋満子葉書)	新村猛
L-256	第三版改訂スタック	1978	4	5	(新村猛宛近藤政美葉書)	新村猛
L-257	第三版改訂スタック				(広辞苑項目一括)	
L-258	第三版改訂スタック	1978	5	5	(新村猛宛金岡寿夫葉書)	新村猛
L-259	第三版改訂スタック	1974	11	18	(岩波書店広辞苑編集部宛大川三部葉書)	岩波書店広辞苑編集部
L-260	第三版改訂スタック	1979	2		「愛知憲法通稿」119号	
L-261	第三版改訂スタック	1979	1	15	「魔法しんぶん」143号	
L-262	第三版改訂スタック	2	8	(新村先生宛金岡書簡)	金岡	新村猛
L-263	第三版改訂スタック	1970	6	26	(新村猛宛巻村一葉書)	新村猛
L-264	第三版改訂スタック				(広辞苑項目)	
L-265	第三版改訂スタック	1982	9	2	(新村猛宛松原秀一葉書)	新村猛
L-266	第三版改訂スタック	6	20	(広辞苑項目原稿写)	金岡孝	近藤政美
L-267	第三版改訂スタック				(書き付け)	
L-268	第三版改訂スタック				「動詞「くらい」「くらい」について」	
L-269	第三版改訂スタック				(校正原稿)	
L-270	第三版改訂スタック	1970	6	6	(新村猛宛田島(紙)に右に流の右)葉書)	新村猛
L-271	第三版改訂スタック	7	23	(嘉道久美子宛金岡書簡)	金岡孝	嘉道久美子
L-272	第三版改訂スタック				(新項目のうち外來語)	
L-273	第三版改訂スタック				(広辞苑第二版第十刷新項目(案))	
L-274	第三版改訂スタック	7	17	(近藤政美宛寺島敏郎葉書)	寺島敏郎	近藤政美
L-275	第三版改訂スタック	1970	4	27	(新村出宛葉書)	新村出
L-276	第三版改訂スタック	1977	12	18	(新村重山文庫「広辞苑」編集部宛津野熊一郎葉書)	新村重山文庫「広辞苑」編集部
L-277	第三版改訂スタック	1979	10	31	(新村猛宛津野熊一郎葉書)	津野熊一郎
L-278	第三版改訂スタック	1979	12	2	(新村猛宛津野熊一郎葉書)	津野熊一郎

新村猛関係資料目録 (奥村・須永・福家・藤野)

L-326	真下信一	1969	8	8	(新村猛・泰子宛真下信一葉書)	真下信一	新村猛・泰子
L-327	真下信一	1958	3	30	(新村猛宛真下信一葉書)	真下信一	新村猛
L-328	真下信一	1966	9	8	(新村猛宛真下信一書簡)	真下信一	新村猛
L-329	真下信一	1976	3	8	「お願ひ」	清水正治・真下信一・塩澤君夫・新村猛・長谷川正安	「ロッキード疑獄事件」への「加明(案)」2点同封。
L-330	土岐善麿	1969	8	6	(新村猛宛土岐善麿葉書)	土岐善麿	新村猛
L-331	古川久	1963	5	16	(新村出宛古川久書簡)	古川久	新村出
L-332	浜田敦	1984	2	25	(新村猛宛浜田敦書簡)	浜田敦	新村猛
L-333	浜田敦	1984	2	25	(新村猛宛浜田敦写真)	浜田敦	新村猛
L-334	浜田敦	1979	6	22	(新村猛宛浜田敦書簡)	浜田敦	新村猛
L-335	浜田敦	1969	7	31	(新村猛宛浜田敦葉書)	浜田敦	新村猛
L-336	久松澄一	1969	8	26	(新村猛・泰子宛久松澄一葉書)	久松澄一	新村猛・泰子
L-337	松村博司	1984	12	9	(新村猛宛松村博司書簡)	松村博司	新村猛
L-338	松村博司	1983	2	26	(新村猛宛松村博司書簡)	松村博司	新村猛
L-339	金田一春彦	1974	1	1	(新村猛宛金田一春彦葉書)	金田一春彦	新村猛
L-340	金田一春彦	1959	4	29	(新村猛宛金田一春彦葉書)	金田一春彦	新村猛
L-341	金田一京助	1956	8	23	(新村出宛金田一京助書簡)	金田一京助	新村出
L-342	泉井久之助	1970	3	7	(新村猛宛泉井久之助葉書)	泉井久之助	新村猛
L-343	泉井久之助	1982	1	7	(新村猛宛泉井久之助葉書)	泉井久之助	新村猛
L-344	泉井久之助	1965	5	1	(新村猛宛泉井久之助葉書)	泉井久之助	新村猛
L-345	泉井久之助	1957	8	3	(新村猛宛泉井久之助葉書)	泉井久之助	新村猛
L-346	泉井久之助	1966	10	19	(新村猛宛泉井久之助書簡)	泉井久之助	新村猛
L-347	泉井久之助	1979	6	19	(新村猛宛泉井久之助書簡)	泉井久之助	新村猛
L-348	泉井久之助	1981	6	5	(新村猛宛泉井久之助葉書)	泉井久之助	新村猛
L-349	阪倉壽義	1972	3	17	(新村猛宛阪倉壽義書簡)	阪倉壽義	新村猛
L-350	阪倉壽義	1975	4	26	(新村猛宛阪倉壽義書簡)	阪倉壽義	新村猛
L-351	阪倉壽義	1975	4	26	(新村猛宛阪倉壽義書簡)	阪倉壽義	新村猛
L-352	阪倉壽義	1970	3	8	(新村猛宛阪倉壽義書簡)	阪倉壽義	新村猛
L-353	金岡孝		4	4	(新村猛宛金岡孝書簡)	金岡孝	新村猛
L-354	金岡孝	1971	12	20	(新村猛宛金岡孝書簡)	金岡孝	新村猛
L-355	金岡孝	1969	7	24	(新村猛宛金岡孝葉書)	金岡孝	新村猛
L-356	市村宏				(新村猛宛市村宏書簡)	市村宏	新村猛
L-357	市村宏	1969	6	12	(新村猛宛市村宏書簡)	市村宏	新村猛
L-358	市村宏	1972	11	28	(新村猛宛市村宏書簡)	市村宏	新村猛
L-359	市村宏	1970	4	30	(新村猛宛市村宏葉書)	市村宏	新村猛
L-360	市村宏	1985	12	23	(新村猛宛市村宏葉書)	市村宏	新村猛
L-361	市村宏	1969	7	17	(新村猛宛市村宏葉書)	市村宏	新村猛
L-362	市村宏	1953	12	19	(新村猛宛市村宏葉書)	市村宏	新村猛
L-363	岡茂雄	1976	3	18	(新村猛宛岡茂雄書簡)	岡茂雄	新村猛
L-364	岡茂雄	1969	7	28	(新村猛宛岡茂雄書簡)	岡茂雄	新村猛
L-365	岡茂雄	1976	6	14	(新村猛宛岡茂雄葉書)	岡茂雄	新村猛
L-366	木水彌三郎	1972	3	16	(新村猛宛木水彌三郎書簡)	木水彌三郎	新村猛
L-367	木水彌三郎	1968	3	8	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛
L-368	木水彌三郎	1976	6	25	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛
L-369	木水彌三郎	1973	5	22	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛
L-370	木水彌三郎	1975	7	25	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛
L-371	木水彌三郎	1976	10	26	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛
L-372	木水彌三郎	1973	11	10	(新村猛宛木水彌三郎葉書)	木水彌三郎	新村猛

資料目録Ⅲ 新村猛関係資料目録(書類篇)

資料 No	封筒等名	作成年月日	タイトル	作成者/発行者	備考
D-1	人文学園		〔「青春の道 京都」写し〕		〔「かが青春」原稿か。京都人文学園原稿用紙。金具で綴じ。書き込みあり。〕
D-2	人文学園		〔「V 軍国の申し子たち」写し〕		〔「かが青春」原稿か。京都人文学園原稿用紙。書き込みあり。〕
D-3	猛口述 関西労働者学校		〔「民主戦線の諸問題」〕	新村猛	講演速記録か。直筆原稿。No.1~57。
D-4	猛口述 関西労働者学校		〔十一月七日於関西政治労働学校 民主戦線の諸問題 京都人文学園長新村猛〕	新村猛	講演速記録。直筆原稿。組織じ。
D-5	猛口述 関西労働者学校		〔「民主戦線の諸問題について 新村猛氏(その二)」〕	新村猛	講演速記録。直筆原稿。組織じ。No.1~167。
D-6	猛口述 関西労働者学校		〔「民主戦線の諸問題 新村猛氏(その三)」〕	新村猛	講演速記録。直筆原稿。組織じ。No.167~329。
D-7	世界文化草稿		〔《経談会》「世界文化」のころ〕	新村猛・真下晋一・和田洋一・北郡政太郎・富岡益五郎・(司会)平林一	複写物。クリップで綴じ。
D-8	世界文化草稿		〔《世界文化校正グラフ》〕		活版印刷と直筆原稿を組織じ。
D-9	世界文化草稿		〔「著者校正お願い 初 9/22」〕		校正グラフ一紙。青ペンで書き込み。
D-10	クリアーフアイル黄色	1971年7月頃か	〔「フランス人民戦線史」について〕	新村猛	クリップで綴じ。〔一九七二・七杉村昌昭直筆録〕と記載。
D-11	クリアーフアイル黄色	1970年4月9日	〔名古屋大学新聞 336号 〔新聞記事写し〕〕	名古屋大学新聞社	新村猛「ベネト・ゲン生誕二百周年に際して」掲載。
D-12	クリアーフアイル黄色		〔「新聞記事写し」〕		新村猛「サツキンの弟子」(1960年4月30日付)掲載。
D-13	クリアーフアイル黄色	1974年3月1日	〔「公明新聞」3234号 〔信濃毎日新聞 断片〕〕	公明党機関紙局	〔「ロマンス語研究所 新村猛さん」掲載。〕
D-14	クリアーフアイル黄色	1969年7月16日	〔「信濃毎日新聞 断片」〕		新村猛「読むこと考えること1」掲載。
D-15	クリアーフアイル黄色	1972年12月16日	〔「赤旗」8006号断片〕		新村猛「読むこと考えること3」掲載。
D-16	クリアーフアイル黄色	1972年12月30日	〔「赤旗」8020号断片〕		新村猛「読むこと考えること3」掲載。
D-17	クリアーフアイル黄色	1976年	〔「戦前の暗い思い出―「世界文化」の現」写し〕	新村猛	ホチキスで綴じ。〔「学問・文化・思想の自由と民主主義1976 シンポジウム記録集」と記載。〕
D-18	クリアーフアイル黄色		〔「著者の言葉」〕		校正あとあり。〔「著作集内容見本「著者の言葉」絶筆」封筒内。〕
D-19	クリアーフアイル黄色		〔「故人の略年譜」〕		ホチキスで綴じ。〔「年譜」封筒内。〕
D-20	クリアーフアイル黄色		〔「故人の病状経過」〕		ホチキスで綴じ。〔「年譜」封筒内。〕
D-21	クリアーフアイル黄色		〔「補足資料 新村猛氏の国際交流関係活動歴」〕		ホチキスで綴じ。3部あり。〔「年譜」封筒内。〕
D-22	クリアーフアイル黄色		〔「民主主義と暴力 民主戦線統一の道」〕	新村猛	校正あとあり。
D-23	クリアーフアイル赤色		〔「黨方の問題 現代政治哲学の一つの基本問題」写し〕	ジョン・サマヴィル	
D-24	クリアーフアイル赤色	1972年12月23日	〔「赤旗」8013号断片〕		新村猛「読むこと考えること2」掲載。
D-25	クリアーフアイル赤色	1969年7月15日	〔「中国新聞」断片〕		〔「ロマンス語研究のために私書を投稿して研究所を開設 新村猛 次の世代の捨て石に」掲載。〕
D-26	クリアーフアイル赤色	1976年2月10日	〔「赤旗」断片〕		新村猛「「スナイ」調査問題をめぐる国会論戦を聞いて思う」掲載。
D-27	クリアーフアイル赤色	1971年3月30日	〔「中日新聞」断片〕		新村猛「映画「みどりの野」を見て 示唆に富む現代文明への抗議」掲載。
D-28	クリアーフアイル赤色	1970年1月15日	〔「平和新聞」625号付録〕	日本平和委員会	新村猛「70年代を迎えて」掲載。
D-29	クリアーフアイル赤色		〔「フタバスト大会に参加して」〕		直筆原稿。No.1~20。
D-30	クリアーフアイル赤色	1979年12月11日	〔「中日新聞」断片〕		新村猛「カリリヨ書記長来日を歓迎 万感胸にせまる思い」掲載。
D-31	クリアーフアイル赤色	1976年3月25日	〔「赤旗」断片〕		〔「89激動のときに語る 国民の意志生かす道 新村猛」掲載。〕
D-32	クリアーフアイル赤色	1989年9月12日	〔「新聞記事」〕		〔「89/12旗」と記載。〕
D-33	クリアーフアイル赤色		〔「毎日新聞」市内版断片〕		新村猛「愛知原知非連応接席から、ナル七峰治候補 新村猛」掲載。
D-34	クリアーフアイル赤色	1975年1月19日	〔「日ソ友好観音をとう進めるべきか」〕	新村猛	ホチキスで綴じ。書き込みあり。
D-35	クリアーフアイル赤色		〔「無題」〕		直筆原稿。「私は、古代中世の西域・中央アジアには、…」。
D-36	クリアーフアイル赤色		〔「原稿写し」〕		上記原稿の写し。校正あとあり。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-37	クリアーフアイル赤色	1969年5月11日	〔朝日ジャーナル〕記事			新村猛「治安」に侵蝕される人権憲法・その2 学園を犯した「防犯係」おこた一般市民の人権感覚」掲載。書き込みあり。
D-38	クリアーフアイル赤色	1969年9月20日	〔中学生の指紋採取に反対する〕	中学生の指紋採取に反対する会		新村猛（愛知人権連合会長・中学生の指紋採取に反対する会代表）指紋採取と人権」掲載。
D-39	クリアーフアイル赤色	1969年4月25日	〔名古屋タイムズ〕断片			「私の主張 指紋登録制度に疑問 中学生の指紋採取に反対する会代表 新村猛」掲載。
D-40	クリアーフアイル赤色	1988年2月13日	〔山陰新聞〕断片			「人間ひろば 基本的人権を守れ 新村猛」掲載。
D-41	クリアーフアイル赤色	1988年2月14日	〔四国新聞〕断片			「人間ひろば 186 人権は胸奥からの欲求 新村猛」掲載。
D-42	クリアーフアイル赤色	1988年2月8日	〔岐阜新聞〕断片			「人間ひろば 人権は自然な欲求 新村猛」掲載。
D-43	クリアーフアイル赤色	1988年2月9日	〔高知新聞〕断片			「人間ひろば 186 人権は心からの欲求 新村猛」掲載。
D-44	クリアーフアイル赤色	1988年2月15日	〔新村猛共同通信編集委員田中理事稿〕			インタビュ記事送付につき。
D-45	クリアーフアイル青色	1969年10月	〔広辞苑〕の寄稿について 荒正二、戸板康二郎氏への答礼として	新村猛		ホチキスで綴じ。6部あり。 〔中央公論〕昭和四十四年十月号所載」と記載。
D-46	クリアーフアイル青色	1971年5月24日	〔芸生新聞〕414号	芸生生活社		「俳句づくりに生き日本語を守る学者 何ことにも「信念」で当たる「広辞苑」の編者・新村猛氏」掲載。
D-47	クリアーフアイル青色	1970年7月20日	〔河北新報〕断片			「本の周辺「広辞苑」物語 新村猛氏」掲載。
D-48	クリアーフアイル青色	1970年7月17日	〔新潟日報〕断片			「著者と対話「広辞苑物語」の新村猛氏」掲載。
D-49	クリアーフアイル青色	1970年7月17日	〔北国新聞〕断片			「著者と対話 無聊な人が多すぎる 父の遺志を継ぎ第三版準備中「広辞苑物語」の新村猛氏」掲載。
D-50	クリアーフアイル青色	1992年2月	〔年金者組合ニュース〕29号	全日本年金者組合愛知県本部		「広辞苑こぼれなし 語る新村猛氏」掲載。「新村猛宛全日本年金者組合愛知県本部」封筒あり。
D-51	クリアーフアイル青色	1972年1月8日	〔名古屋タイムズ〕断片	新村猛		「よる対談 クエスト 新村猛」掲載。
D-52	クリアーフアイル青色	1966年10月	〔私が勉強した環境 好い環境づくりに必要〕写し	新村猛		「人物時評 1966・10」など書き込みあり。
D-53	クリアーフアイル青色		「弔辞 佐々木時雄さんのなまからに向つて」	新村猛		直筆原稿。No.1-10。
D-54	クリアーフアイル青色		「式辞要旨」	新村猛		福女子大学長 大学式辞 74 4 月か～78 3 月」封筒内。
D-55	クリアーフアイル青色	1981年	〔新聞記事写し〕			「新村出博士の業績しのぶ」〔京都新聞〕1981年5月26日付。 「記念財団を認可」〔中日新聞〕1981年6月2日付）掲載。17部あり。 「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-56	クリアーフアイル青色	1981年5月27日	〔毎日新聞〕記事写し			「広辞苑」の頭巻を公開」掲載。13部あり。「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。〔1981年5月27日〕と記載。
D-57	クリアーフアイル青色		〔新村出記念財団役員（理事・監事および評議員）名簿〕写し			「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。4部あり。
D-58	クリアーフアイル青色		〔新村出記念財団役員（理事・監事および評議員）名簿〕			「新村出博士の業績しのぶ 記念財団スタート」掲載。3部あり。 「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-59	クリアーフアイル青色	1981年5月26日	〔京都新聞〕夕刊記事写し			「記念財団を認可」掲載。2部あり。 「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-60	クリアーフアイル青色	1981年6月	〔中日新聞〕記事写し			「京都文化院」を再興」京都文化院再興議定書」掲載。3部あり。
D-61	クリアーフアイル青色	1981年6月14日	〔京都新聞〕記事写し			「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-62	クリアーフアイル青色	1981年6月6日	〔毎日新聞〕記事写し			「東西軍事力 名古屋大学教授（国際バグワッシュ評議員）豊田利幸氏」掲載。「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-63	クリアーフアイル青色	1981年5月27日	〔毎日新聞〕断片			「広辞苑」の頭巻を公開」掲載。「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。〔1981年5月27日〕と記載。
D-64	クリアーフアイル青色	1981年6月14日	〔京都新聞〕断片			「京都文化院」を再興」掲載。「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-65	クリアーフアイル青色	1981年6月14日	〔京都新聞〕断片			京都文化院清海八郎・白石古京・白石英司「京都文化院再興議定書」掲載。「記念財団」新聞記事コピー」封筒内。
D-66		1976年	〔科学者のあゆんだ道〕	新村猛		新村へのインタビューをまとめたもの。2部あり。

D-67		1941年9月10日	[CATALOGO DELLA COLLEZIONE DANTESSCA]	京都帝国大学附属図書館	旭江文庫目録。
D-68		1963年8月	[Notes pour servir à l'étude du français des XIV ^e et XV ^e siècles]		直筆原稿。14、15世紀フランス語学習のためのノート。
D-69			[La vie et l'œuvre de Romain Rolland]		直筆原稿。皮表了ノート。ロマン・ロラン著作からの抜き書き。
D-70			[Lettres de Malwida von Meysenbug à Romain Rolland]		手紙からの抜き書き。
D-71	1958-1959 留学時メモ 譜		[4. 38-3. 59 Mémoires]]		ヨーロッパ滞在中の直筆日記。
D-72	1958-1959 留学時メモ 譜		[Mémoires 2. 4. 39-8. 59]		ヨーロッパ滞在中の直筆日記。
D-73		1985年4月17日	[新村先生宛信州白樺書簡]		初校送付につき。新村猛宛信州白樺書簡 (1985年4月18日付) 内。
D-74			[「荒川惣兵衛さん」と外來語 ―米寿を祝って―]	新村猛	直筆原稿。No.1-15。ホチキスで綴じ。校正あり。 [「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1985年4月18日付) 内。 ホチキスで綴じ。校正あり。 [「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1971年6月12日付) 内。
D-75		1971年6月10日	[「俗ラテン語」校正ゲラ]		直筆原稿。綴綴じ。書き込みあり。
D-76			[「俗ラテン語」原稿]		直筆原稿。綴綴じ。書き込みあり。 [「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1971年6月12日付) 内。
D-77			[「俗ラテン語」原稿]		直筆原稿。ホチキスで綴じ。書き込みあり。 [「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1971年6月12日付) 内。
D-78			[「俗ラテン語」目次原稿]		直筆原稿。クリップで綴じ。書き込みあり。 [「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1971年6月12日付) 内。
D-79			[「俗ラテン語」年表原稿]		書き込みあり。[「新村猛宛白水仙子代忠史」封筒 (1971年6月12日付) 内。
D-80	人文学園創立三十年記念資料 一九七六・六・一―三	1974年	[「新村猛宛白水仙子代忠史」原稿]		札束。
D-81	人文学園創立三十年記念資料 一九七六・六・一―三	1976年6月13日	[「京都人文学園卒業生・関係者名簿」]	京都人文学園創立三〇周年世話人会	
D-82	人文学園創立三十年記念資料 一九七六・六・一―三	1882年8月	[「天草運動巻之巻 天草軍談巻之巻」]		直筆原稿。和装。 [EX LIBRIS SOC. VERBI DIVINI JAPONIA] 印あり。
D-83	ロマン・ロラン ダランベールの夢 原稿の一部		[「ロマン・ロラン」原稿]	新村猛	直筆原稿。綴綴じ。校正あり。
D-84	ロマン・ロラン ダランベールの夢 原稿の一部		[「フランス啓蒙思想」校正ゲラ]	新村猛	クリップで綴じ。校正あり。
D-85	ロマン・ロラン ダランベールの夢 原稿の一部		[「ダランベールの夢」原稿]	新村猛	直筆原稿。綴綴じ。校正あり。
D-86	ロマン・ロラン ダランベールの夢 原稿の一部		[「イペリア美術紀行」]		直筆原稿。
D-87	ロマン・ロラン ダランベールの夢 原稿の一部		[「松川蔵判をめぐる疑問」]	新村猛	直筆原稿。中央公論社封筒内。
D-88	真下信一用替他	1985年3月17日	[「真下先生を偲ぶ会 (仮) 第一回実行委員会」]		ホチキスで綴じ。
D-89	真下信一用替他		[「新聞断片」]		[「真下信一先生逝去」]。新村猛 [「真下信一君を偲ぶ」] 掲載。書き込みあり。
D-90	真下信一用替他		[「告別の辞 真下信一君の霊前に於て」]	新村猛	直筆原稿。ホチキスで綴じ。書き込みあり。[「惜別の辞 (甲辞) (草稿) (草稿) 真下信一君の遺影の前で 一九八五年二月一七日於大乗寺」] 封筒内。
D-91	真下信一用替他		[「告別の辞」写し]	新村猛	ホチキスで綴じ。上記原稿を複製したもの。写し。[「惜別の辞 (甲辞) (草稿) 真下信一君の遺影の前で 一九八五年二月一七日於大乗寺」] 封筒内。
D-92	真下信一用替他	1967年10月7日	[「御挨拶」]	亡 新村出次男 遺族代表 新村猛	直筆原稿。書き込みあり。[「新村出次男公葬 挨拶原稿」] 封筒内。
D-93	真下信一用替他	1967年10月7日	[「挨拶原稿」]		直筆原稿。書き込みあり。1ページ目欠。 [「新村出次男公葬 挨拶原稿」] 封筒内。
D-94	辞令	1949年8月4日	[「辞令」]	文部大臣高橋邦太郎	文部教官任命。
D-95	辞令	1949年8月4日	[「辞令」]	名古屋大学事務局庶務課	文部教官任命。
D-96	辞令		[「辞令」封筒]		中身なし。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-97	辞令	1942年12月24日	〔辞令〕	日本文化協会理事長菊池豊三郎	日本文化協会研究嘱託任命。 奥に「M Shimamura Y 16」と記載。
D-98	辞令		〔封筒〕		文化事業嘱託。「新村猛」封筒内。
D-99	辞令	1948年4月10日	〔辞令〕	京都市長梅吉正雄	
D-100	辞令	1931年7月23日	〔教員免許状〕	文部省	高等学校教員免許状。印紙の残み込みあり。
D-101	辞令	1932年4月1日	〔辞令〕	同志社総長大工原銀太郎	同志社高等学校講師嘱託。「新村猛」同志社封筒内。 文学部講師嘱託。「新村猛」同志社封筒（1946年5月1日付）内。
D-102	辞令	1937年3月31日	〔辞令〕	京都帝国大学	
D-103	辞令	1946年5月1日	〔辞令〕	同志社総長牧野茂次	同志社大学予科講師嘱託任命。
D-104	辞令	1948年5月25日	〔辞令〕	京都府知事木村淳	京都府文化委員委嘱。
D-105	辞令	1942年7月31日	〔辞令〕	京都帝国大学附属図書館	「自今手当給七ス」と記載。
D-106	辞令	1951年7月4日	〔辞令〕	名古屋大学事務局庶務課	名古屋大学准職員任命。
D-107	辞令	1936年4月1日	〔辞令〕	同志社専門学校長難波茂吉	同志社専門学校法経部講師嘱託。「新村猛」同志社封筒内。 同志社専門学校法経部講師嘱託。
D-108	辞令	1937年4月1日	〔辞令〕	同志社専門学校長難波茂吉	同志社専門学校法経部講師嘱託。「新村猛」同志社封筒（1937年4月1日付）内。
D-109	辞令	1937年4月1日	〔辞令〕	同志社総長海渡八郎	年俸記載。「新村猛」同志社封筒（1937年4月1日付）内。
D-110	辞令	1935年4月1日	〔辞令〕	同志社専門学校長難波茂吉	同志社専門学校法経部講師嘱託。
D-111	辞令	1933年4月1日	〔辞令〕	同志社総長海渡八郎	同志社専門学校法経部講師嘱託。「新村猛」同志社封筒（1935年4月1日付）内。
D-112	辞令		〔「新村猛」宛封筒〕		年俸記載。「新村猛」同志社封筒（1933年4月1日付）内。
D-113	辞令	1945年5月15日	〔辞令〕	京都帝国大学文学部	表に「至急 小島部長 太平教授 落合 御あいさつ」と記載。 文学部副手嘱託。「新村猛宛京都帝国大学文学部長落合太郎」封筒内。
D-114			〔「ロランのためのNOTES」封筒〕		中身なし。
D-115		1992年9月11日			略歴及び書翰送付につき。 〔新村猛宛大高福雄〕封筒（1992年9月11日付）内。
D-116					〔西尾啓子略歴〕
D-117					「Etude sur le vocabulaire du français québécois: alimentation, cuisine, et restauration」 〔「中日新聞」記事〕
D-118	新聞紙切抜	1989年4月30日			修正論文。組織じ。 〔新村猛宛大高福雄〕封筒（1992年9月11日付）内。
D-119	新聞紙切抜	1984年5月7日	〔雑誌記事〕	Keiko NISHIO	「世界史の源流」掲載。
D-120	新聞紙切抜		〔「朝日新聞」夕刊記事〕		2部あり。山田俊雄「秀れた明哲者の業績の実相」掲載。
D-121	新聞紙切抜	1986年10月30日	〔「毎日新聞」記事〕		「週刊読書人（59. 5. 7）」と記載。
D-122	新聞紙切抜	1990年3月27日	〔「中日新聞」記事〕		加々美光行「巨大な殿様立つ中国」掲載。
D-123	新聞紙切抜	1986年1月17日	〔新聞記事〕		「夫婦ある日ある時 海部康男・継代」掲載。
D-124	新聞紙切抜	1981年11月15日	〔新聞記事〕		「中日（夕刊）1990-3-27」と記載。
D-125	新聞紙切抜		〔新聞記事〕		「社説」掲載。
D-126	新聞紙切抜	1979年6月1日	〔新聞記事〕		「肥後保山愛宕市長前祭での今井伸英統一戦線部長の罪いの言葉」掲載。
D-127	Amnesty International 名古屋グループ主催芸術センター	1988年9月30日	〔「Amnesty International」パンフレット〕	Amnesty International 名古屋グループ	「かが朝わが友 文学交友記 佐々木基一」掲載。
D-128	Amnesty International 名古屋グループ主催芸術センター	10-XI-1989, 14-16h, 30 10-XI-1989, 14-16h, 30 10-XI-1989, 14-16h, 30			
D-129	Amnesty International 名古屋グループ主催芸術センター	10-XI-1989, 14-16h, 30	〔「入会手続きの流れ」写し〕		
D-130	Amnesty International 名古屋グループ主催芸術センター	1989年9月1日	〔「わたしはAmnestiyを交彼します。あなたも」写し〕		
D-130	Amnesty International 名古屋グループ主催芸術センター	10-XI-1989, 14-16h, 30	〔「Amnesty International」パンフレット〕	Amnesty International 名古屋グループ	「Amnesty International」パンフレット 参加者用資料 Amnesty International 名古屋グループ ホチキスで綴じ。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-158	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会	1985年11月29日	〔朝日新聞〕記事写し		「北朝鮮孤児とも対面実現を」掲載。 「朝日朝刊 11/29」と記載。
D-159	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会		「第一回世話人会での八十二才藤井さんのあいさつ」		ホチキスで綴じ。
D-160	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会	1985年11月29日	〔朝日新聞〕記事写し		「北朝鮮孤児「会いに行く会」が発足」掲載。 「朝日朝刊 11/29」と記載。
D-161	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会		「世話人名簿」		書き込みあり。
D-162	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会		〔新聞記事、アンケート、書簡等写し一括〕		ホチキスで綴じ。
D-163	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会	1985年11月6日	〔朝日新聞〕記事写し		「北朝鮮残留孤児にも光を」掲載。
D-164	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会	1985年11月16日	〔朝日新聞〕記事写し		ホチキスで綴じ。
D-165	15-XI-85 朝鮮残留邦人 (日本人)に会いに行く会		「世話人名簿」		書き込みあり。
D-166	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学	1986年7月	「1986年度世界文学学会大会報告」		
D-167	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学		「予稿案（1986年下半期～1987年上半期）」		
D-168	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学		「三〇年代イギリス知識人の転向問題 コードウエルとスペンサー」写し	日高六郎	クリップで綴じ。 「思案」1969年11月号掲載。
D-169	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学	1986年5月15日	「許すな」国家秘密法ニュース】3号	自由法曹団	
D-170	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学		〔朝日新聞〕記事写し		「スペイン内戦から50年 闘いを語るアナキスト アベル・パスさん」 掲載。封筒「Front populaire Guerre civil en Espagne 50年後 1985- 86年」内。
D-171	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学		「スペイン市民戦争とイギリスの作家達」	山本証	1986年度世界文学大会のレジュメ。
D-172	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学	1986年7月23日	「スペイン市民戦争とソビエト文学」	小野	
D-173	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学		「Spanienliteratur (Spanienkriegsliteratur)」		資料集。ホチキスで綴じ。
D-174	フランス・イヌスニアの 人民戦線と世界文学	1986年7月	「LE MONDE DIPLOMATIQUE」		
D-175	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年11月	「ご招待とおねがい」	名古屋南部法律事務所弁護士安藤謙・ 向水野俊男・向竹内平・所良一同	
D-176	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年11月	「名古屋南部法律事務所設立十五周年記念レセプションの ご案内」	名古屋南部法律事務所 記念レセプション よびかけ人一同	D-175と同じ封筒内。
D-177	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.		「名古屋南部法律事務所宛封筒」		中身なし。
D-178	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年11月1日	「お願い」	名古屋南部法律事務所弁護士安藤謙・ 弁護士水野俊男・弁護士竹内平	D-177と同じ封筒内。
D-179	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年11月28日	「なんぶ」46号	名古屋南部法律事務所	
D-180	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年12月	「名古屋南部法律事務所設立15周年記念レセプション」	名古屋南部法律事務所 記念レセプションよびかけ人一同	
D-181	創立一五周年祝賀会 9-XI-1989, 16h. ~21h.	1989年12月1日	「暮らしと人権を守って 新たなる飛躍へ 名古屋南部法律事務所設立十五周年記念」	名古屋南部法律事務所	よびかけ人代表新村猛が開会あいさつ担当。 新村猛「大切な人権の擁護」掲載。「ごあいさつ」(名古屋南部法律事 務所, 1989年12月吉日) 書き込み。
D-182	Romain Rolland 資料		「(1) ジャン・クリストフ」等書付一括		種多な書内の集まり。

D-183	Romain Rolland 資料	[4] Jean- Christophe]		クリップで綴じ。
D-184	Romain Rolland 資料	[2] Jean- Christophe]		ホチキスで綴じ。[Quand on croit, on agit …]。
D-185	Romain Rolland 資料	[ロマン・ローラン自伝文断片]		[ame enchantée] と記載。
D-186	Romain Rolland 資料	[Sylvie vieillissante, qui commence à apprendre le piano. (p. 1389-96)]		
D-187	Romain Rolland 資料	[R. R. et Shakespeare]		
D-188	Romain Rolland 資料	[「ロマン・ローラン 幼年-少年時代」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-189	Romain Rolland 資料	[「Sur "l'ame enchantée" (suite)」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-190	Romain Rolland 資料	[「R. et la politique」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-191	Romain Rolland 資料	[「Correspondance entre R. Rolland」]		
D-192	Romain Rolland 資料	[「ローランの通訳生活」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-193	Romain Rolland 資料	[「(1) beaux-arts」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-194	Romain Rolland 資料	[「書付」]		[「アジオグラフィ…」と記載。
D-195	Romain Rolland 資料	[「Romain Rolland et la musique」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-196	Romain Rolland 資料	[「pour le chapitre IX」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-197	Romain Rolland 資料	[「R. Rolland et Beethoven」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-198	Romain Rolland 資料	[「Ch. III. Les Héros de la Douleur」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-199	Romain Rolland 資料	[「R. Rolland et ses amis, son amitié etc.」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-200	Romain Rolland 資料	[「R. Rolland et A. Suarès」]		
D-201	Romain Rolland 資料	[「Esthétique de R. Rolland (conception de l'art et de la littérature)」]		
D-202	Romain Rolland 資料	[「pour le chapitre VI (Ame Enchantée)」等書付一括]		のりで綴じ。
D-203	Romain Rolland 資料	[「Figures féminines chez R. Rolland」等書付一括]		雑多な書付の集まり。
D-204	Romain Rolland 資料	[「pour le chapitre III (Héros de la douleur)」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-205	Romain Rolland 資料	[「R. Rolland et Malwida von Meysenbug」等書付一括]		クリップで綴じ。
D-206	Romain Rolland 資料	[「Jean-Christophe」書付]		
D-207	Romain Rolland 資料	[「ame enchantée」書付]		
D-208	Romain Rolland 資料	[「Debussy. Journal des amités de guerre」書付]		
D-209	Romain Rolland 資料	[「R. R. et la musique (roman musical)」書付]		
D-210	Romain Rolland 資料	[「R. R. et l'affaire Dreyfus」書付]		
D-211	市村さん遺稿	[目次]		市村忠吾の講義原稿・メモ。
D-212	市村さん遺稿	[「第二講 マレクプよりボワローまで 一六〇五年-一六六五年」]		ピンで綴じ。
D-213	市村さん遺稿	[「第三講 ボワロー・デブレオー 一六六五年-一六八五年」]		ピンで綴じ。
D-214	市村さん遺稿	[「第四講 古代派と近代派の論争 一六九〇年-一七二〇年」]		ピンで綴じ。
D-215	市村さん遺稿	[「第五講 十八世紀の文藝批評 一七二〇年-一八〇〇年」]		ピンで綴じ。
D-216	市村さん遺稿	[「第六講 スタール夫人とシヤトリアン 一八〇〇年-一八二〇年」]		ピンで綴じ。
D-217	市村さん遺稿	[「第七講 ヴィルマンの批評 一八二〇年-一八三五年」]		ピンで綴じ。
D-218	市村さん遺稿	[「第八講 サント・ブウワの作品 一八三〇年-一八六五年」]		ピンで綴じ。
D-219	市村さん遺稿	[「第九講 テーヌ氏 一八六五年-一八八〇年」]		ピンで綴じ。
D-220	市村さん遺稿	[講義メモ一括]		講義ノートから朝が抜けたか。
D-221	No. 1	[Paul Eluard (14 déc. 1895-18 nov. 1952)]		[Riste de Livres remis au Centre d'Etudes Française de Nagoya] (1953年6月3日) を読み込み。
D-222	No. 2	[Le Lai de L'ombre]		
D-223	No. 3	[Les Quinze Jours de Mariage]		レポート用紙「REPORTON THE EXPERIMENT」表紙あり。
D-224	No. 4	[ノート断片]		清代中国の漢詩・文字関係。

新村猛関係資料目録 (奥村・須永・福家・藤野)

D-225	No. 5	1958年11月-1959年6月	〔講演聴講記録〕	T. Shimmura	表紙見返しに「T. Shimmura. Faculté des Lettres de l'Université de Nagoya」と署名。バリ留学中の下宿先住所記載。
D-226	No. 6		〔「歌謡の性質」吉澤教授〕	仏文専攻 新村猛	吉澤義則講義の聴講ノート。
D-227	No. 7		〔ネガ〕		「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。「アウシュビッツ博物館正面。近傍の写真ネガ」封筒 (1971年6月27日) 内。
D-228	No. 7	1971年6月	〔編集部宛書簡〕		「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。「新村猛宛日本平和委員会 平和新聞編集部」封筒 (1971年6月4日) 内。
D-229	No. 7		〔AUSCHWITZ 1940-1945 GUIDE DE MUSEE〕	Kazimierz Smolen/MUSEE D'ETAT A OSWIECIM	「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。中表紙に「T.「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。Shimmura 21-5-1971. au Musée d'Auschwitz, Pologne.」と書き込みあり。
D-230	No. 7		〔OSWIECIM AUSCHWITZ〕	Kazimierz Smolen	「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。中表紙に「T. Shimmura 21-5-1971. au Musée d'Auschwitz, Pologne.」と書き込みあり。
D-231	No. 7		〔850o Annivesario della traslazione di San Geminiano〕		「名古屋 新村猛 平和新聞編集部」封筒内。「T. Shimmura, il 9 Agosto 1959. nel Duomo di Modena.」と書き込みあり。
D-232	No. 8		〔Precis d'une Histoire générale de la Littérature Française I.〕	Takeshi Shimura Faculté des Lettres de l'Université de Nagoya	
D-233	No. 9		〔Precis d'une Histoire générale de la Littérature Française II.〕	Takeshi Shimura Faculté des Lettres de l'Université de Nagoya	
D-234	No. 10	1923年か	〔国語 十訓抄 俳文俳句抄〕	文一丙 新村猛	ドイツ語。フランス語なども記載。
D-235	No. 11	1924年か	〔西洋史 (三年) 普賢教授 東洋史 (III) 那波利貞 那波利貞 教授〕	文二丙 新村猛	「東洋史考試問題 (大正十四年二月二十八日施行)」を抜き込み。
D-236	No. 12	1926-30年か	〔国史 (特殊) 喜田講師〕		喜田貞吉の講義聴講ノート。
D-237	No. 13	1926-30年か	〔朝野史綱解題 朝野史 今西博士〕	T. Shimmura	今西龍の講義聴講ノート。「朝野及南満洲」地図を抜き込み。
D-238	No. 14		〔More solitary than Robinson Crusoe David Copperfield by Dickens Mr. Yamamoto.〕	2-3 Section Lettres Française T. Shimmura	「T. Shimmura mercredi November 19 5」を抜き込み。
D-239	No. 15		〔Picture-Book〕	T. Shimmura	セザンヌ、ゴッホなどの絵画コピーを取り付け。
D-240	No. 16	1968年12月	〔例文《faire que sage(s)》における que について〕	新村猛	「名古屋大学文学部二十周年記念論集」(1968年12月) 抜刷。表紙に「ヒス文上の意圖に敵ぐ一九六九年三月二〇日 次男 猛」と書き込み。
D-241	No. 17	1932年4月-1933年	〔Cahier de lectures pour la classe de la Troisième année.〕	T. Shimmura	
D-242	No. 18		〔法朗 山谷教授〕	文科三年丙類 新村猛	講義聴講ノート。
D-243	No. 19	1926年8月-10月	〔Journal intime. à dater du 28. août. 1926.〕		日記及び読書ノート。島崎藤村に関する記述多し。
D-244	No. 20		〔Histoire générale de la Littérature Française III.〕	Takeshi Shimmura Faculté des Lettres de l'Université de Nagoya	
D-245	No. 21	1945年5月	〔Notes concernant La Monarchie absolue (Absolutism) et La formation de l'état national (Nationalstaat) en France.〕		「絶対主義」紀藤太郎「ロシア絶対主義の成立過程」一ツ同盟における討論の紹介がなねて。「フランス語書付」。「マイアール百科辞典の定義及び解説」。「人民主義の政治機構」。「—victimes des garnes et des revolutions—」等書付一括) を抜き込み。
D-246	No. 22		〔Jeanne de Pieines (notes pour Jeanne de Pieines) 17 juillet 1896.〕		
D-247	No. 23	1986年4月15日	〔ソ連共産党綱領 新稿 (ソ連共産党第27回大会で採択)〕	ソ連大使館広報部/新時代社	「今日のソ連邦」1986年4月15日号 (29巻8号) 付録。
D-248	No. 24	1983年11月23日	〔新聞記事写し〕		「慶喜公の遺徳を偲ぶ」(「サンケイ新聞」1983年11月23日付) 取録。
D-249	ルーマニア雑誌版 (佐々木謙之助) (続き)	1990年10月22日	「ルーマニア雑誌版」55	ブクレシュティ大学 佐々木謙之助	
D-250	ルーマニア雑誌版 (佐々木謙之助) (続き)	1991年3月12日	「ルーマニア雑誌版」76	ブクレシュティ大学 佐々木謙之助	
D-251	ルーマニア雑誌版 (佐々木謙之助) (続き)	1991年2月26日	「ルーマニア雑誌版」74	ブクレシュティ大学 佐々木謙之助	
D-252	ルーマニア雑誌版 (佐々木謙之助) (続き)	1988年2月5日	「ルーマニア通信」22号	ブクレシュティ大学 佐々木謙之助	

D-232	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年4月9日	「ルーマニア雑誌」27	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-234	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年4月16日	「ルーマニア雑誌」28	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-235	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年4月23日	「ルーマニア雑誌」29	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-236	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年4月30日	「ルーマニア雑誌」30	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-237	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年5月7日	「ルーマニア雑誌」31	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-238	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1987年12月25日	「ルーマニア通信」17号	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-239	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1988年1月15日	「ルーマニア通信」19号	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-240	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1988年2月19日	「ルーマニア通信」24号	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-241	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1988年3月11日	「ルーマニア通信」27号	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-242	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年10月5日	「ルーマニア雑誌」1	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-243	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年10月12日	「ルーマニア雑誌」2	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-244	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年10月19日	「ルーマニア雑誌」3	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-245	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年10月26日	「ルーマニア雑誌」4	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-246	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年11月2日	「ルーマニア雑誌」5	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-247	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年11月9日	「ルーマニア雑誌」6	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-248	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年11月16日	「ルーマニア雑誌」7	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-249	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年11月23日	「ルーマニア雑誌」8	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-250	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年11月30日	「ルーマニア雑誌」9	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-251	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年12月7日	「ルーマニア雑誌」10	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-252	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年12月14日	「ルーマニア雑誌」11	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-253	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1989年12月21日	「ルーマニア雑誌」12	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-254	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年1月1日	「ルーマニア雑誌」13	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-255	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年1月8日	「ルーマニア雑誌」14	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-256	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年1月15日	「ルーマニア雑誌」15	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助
D-257	ルーマニア雑誌 (佐々木誠之助) [続き]	1990年1月22日	「ルーマニア雑誌」16	ブクレシュティ大学	佐々木誠之助

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-278	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年1月29日	「ルーマニア雑記帳」17	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-279	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年2月5日	「ルーマニア雑記帳」18	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-280	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年2月12日	「ルーマニア雑記帳」19	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-281	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年2月19日	「ルーマニア雑記帳」20	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-282	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年2月26日	「ルーマニア雑記帳」21	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-283	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年3月5日	「ルーマニア雑記帳」22	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-284	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年3月12日	「ルーマニア雑記帳」23	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-285	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年3月19日	「ルーマニア雑記帳」24	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-286	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年4月2日	「ルーマニア雑記帳」26	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-287	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年5月21日	「ルーマニア雑記帳」33	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-288	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年5月22日	「ルーマニア雑記帳」臨時増刊号	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-289	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1988年3月18日	「ルーマニア通信」28号	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-290	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年5月28日	「ルーマニア雑記帳」34	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-291	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年6月4日	「ルーマニア雑記帳」35	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-292	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年7月2日	「ルーマニア雑記帳」39	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-293	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年7月9日	「ルーマニア雑記帳」40	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-294	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年5月14日	「ルーマニア雑記帳」32	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-295	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1989年12月26日	「ルーマニア雑記帳」番外	ブクレシュティイ大学	佐々木誠之助
D-296	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年1月5日	[[「ルーマニア雑記帳」番外]下書き]	佐々木久子	のりで綴じ。
D-297	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年1月24日	[[「ルーマニア雑記帳」番外]の事死の追悼、事死の思い遣い、 訃字・訃字など訂正したものをお届けします]	佐々木誠之助	
D-298	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年1月19日	【週刊朝日】95巻2号	朝日新聞社	
D-299	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1990年3月10日	「日本とルーマニア」第110号	日本ルーマニア友好協会	
D-300	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）		〔産経新聞記事写し〕		「ルーマニア「海の殿堂」がSOS」など。（Mr.Suzuki 宛 Dr. Ioan Botar 書簡）（1990年2月）ともにホチキスで綴じ。
D-301	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）		「集会 いまルーマニアでは」	東欧研究会	
D-302	ルーマニア雑記帳 （佐々木誠之助）（続き）	1987年9月30日	「日本とルーマニア」第97号	日本ルーマニア友好協会	

D-301	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]			「集会 いまルーマニアでは」		東欧研究会	
D-302	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1987年9月30日		「日本とルーマニア」第97号		日本ルーマニア友好協会	
D-303	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1989年12月1日		「日本とルーマニア」第108号		日本ルーマニア友好協会	
D-304	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1989年7月10日		「日本とルーマニア」第106号		日本ルーマニア友好協会	
D-305	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年4月25日		「日本とルーマニア」第90号		日本ルーマニア友好協会	
D-306	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年1月10日		「日本とルーマニア」第104号		日本ルーマニア友好協会	
D-307	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1987年1月20日		「日本とルーマニア」第94号		日本ルーマニア友好協会	
D-308	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年2月10日		「日本とルーマニア」第99号		日本ルーマニア友好協会	
D-309	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1985年1月20日		「日本とルーマニア」第78号号外		日本ルーマニア友好協会	
D-310	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1985年1月20日		「日本とルーマニア」第78号		日本ルーマニア友好協会	
D-311	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1989年11月1日		「日本とルーマニア」第107号		日本ルーマニア友好協会	
D-312	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1987年6月25日		「日本とルーマニア」第95号		日本ルーマニア友好協会	
D-313	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年11月15日		「日本とルーマニア」第103号		日本ルーマニア友好協会	
D-314	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年4月1日		「日本とルーマニア」第100号		日本ルーマニア友好協会	
D-315	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年1月25日		「日本ルーマニア友好協会86, 87年経過報告」			「86, 87協会収支(88.1.25)」とともにホチキスで綴じ。
D-316	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1988年7月25日		「日本とルーマニア」第101号		日本ルーマニア友好協会	
D-317	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1989年12月30日		「ルーマニア教授ニュース」第一号			
D-318	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1月10日		「常任理事会の開催通知 1月10日(水)夕 学生会館地下貸室」			
D-319	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1990年1月9日		「ルーマニア教授ニュース」第二号		日本ルーマニア友好協会	
D-320	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1990年1月27日		「日本とルーマニア」断片			
D-321	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1987年4月15日		「日本とルーマニア」第94号		日本ルーマニア友好協会	
D-322	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1987年1月8日		「新刊猛狹佐々木謙之助叢書」			
D-323	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1981年11月5日		「ルーマニア友好の旅」決断書			
D-324	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1986年6月20日		「日本とルーマニア」第91号		日本ルーマニア友好協会	
D-325	ルーマニア雑記版 (佐々木謙之助) [続き]	1989年5月27日		「日本ルーマニア友好協会第23回総会」			2部。

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-325	ルーマニア雑記帳 (佐々木謙之助) (続き)	1989年5月10日	「日本とルーマニア」第105号	日本ルーマニア友好協会	
D-327	ルーマニア雑記帳 (佐々木謙之助) (続き)	3月8日	(新村猛宛鈴木四郎書簡)		
D-328	ルーマニア雑記帳 (佐々木謙之助) (続き)	1988年12月20日	「常任理事各位」	日本ルーマニア友好協会	「ルーマニアの国民詩人・没後100年記念 ミハイ・ユネスク (1850～1889) 展示会と講演会のお知らせ」同封。 (Maneger Dr. Eng. Teodor Ciomocos 書簡写し) (Dr. Ion Stratic 書簡写し) 同封。
D-329	ルーマニア雑記帳 (佐々木謙之助) (続き)	1990年2月	「常任理事会開催ご案内」		名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-330	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年5月30日	アッピール	国労名古屋地方本部 権利を守る緊急委員会	
D-331	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月13日	「国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知県学者弁護士会の運営と活動について」「国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知県学者弁護士会の会」結成総会」		名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-332	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年4月	「鉄道労の進路について」	鉄道総連	名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。
D-333	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	19870604	「団体交渉問題の要請について」	国鉄労働組合名古屋地方本部執行委員長 大野清光	名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。
D-334	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88		「1. 権利侵害の現状」		名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。2部。
D-335	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月13日	「JR実態調査・調査項目(案)」	事務局 (後藤潤一郎)	名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-336	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88		「[[鉄道事業法案]の主要な問題点(案)] 写し」	全運輸総連専門委員会・鉄道小委員会	名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。
D-337	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月6日	「会社は不当労働行為をやめろ 新生JR 東海社は不当労働行為のデパートだ」	国鉄労働組合新幹線支部大阪第一運動分會 分會長 太田博之	名古屋弁護士協同組合封筒内。裏面に(朝日新聞記事「国労名馳退いたら希望の元の職場に」)写し。1987年4月28日付夕刊)あり。
D-338	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月13日	「新JR 旅客会社がかかえている問題点—一つの問題提起—」	平井都士夫	名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-339	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年5月13日	「[[国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知県学者弁護士会の会] (仮称) 結成の呼びかけ」	呼びかけ人 伊藤公・宇佐美大司・新村猛・鈴木香幸・高木輝雄・野間美喜子・野呂汎・平井都士夫・藤井繁・益井力・森英樹・橋越英一	名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。2部。
D-340	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月1日	「抗議声明」	国鉄労働組合名古屋地方本部	名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-341	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年	「申入書(案)」	国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知 県学者弁護士会の会世話人代表新村猛 世話人 伊藤公・宇佐美大司・鈴木香幸・高 木輝雄・野間美喜子・野呂汎・平井都士夫・ 藤井繁・益井力・森英樹・橋越英一	名古屋弁護士協同組合封筒内。ホチキスで綴じ。
D-342	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月13日	「[[国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知県学者弁護士会の会] 結成総会」	名古屋弁護士会	名古屋弁護士協同組合封筒内。
D-343	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88		「国労名古屋地本 新幹線 電力・信通」		新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-344	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1988年	「学弁の会新幹線安全問題調査報告」		新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-345	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1988年	「静岡電力区調査報告書」		新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-346	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88	1988年3月9日	「国労・浜松工場支部新幹線安全調査関係 聴き取り項目」	後藤潤一郎	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-347	労働の在り方にかんする学者・弁護士との会 IV-VI = 1987-III = '88		「愛知労働センター第3回総会に結果しよう」		新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 「労働総連統一」「全労連」加入に関する当面の態度のついて」 (編者労連本部。1987年4月21日) 収み込み。

D-348	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月26日	[[愛知ろうけん第3回総合アツピール] 写し]	第3回愛知労研センター総会	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-349	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月16日	「申入書」	国民の鉄道と労働者のあり方を考える愛知県学者弁護士の本 世話人代長 新村猛 理事 伊藤公之 宇佐美次郎・鈴木秀幸・高木輝雄・野間美喜子・野呂汎・平井都士夫・藤井繁・室井力・森延野・横越英一	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-350	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年6月1日	「不当労働行為救済命令申立書」	国際労働組合名古屋地方本部	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-351	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年4月7日	「ご案内」	「国鉄の再生と労働者のあり方」を考える愛知県学者文化人の会 (仮称) 組成準備会	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-352	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年4月25日	「国鉄の再生と労働者のあり方」を考える愛知県学者文化人の会 (仮称) 組成準備会	「国鉄の再生と労働者のあり方」を考える愛知県学者文化人の会 (仮称) 組成準備会	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-353	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1987年5月5日	「とりもどせ！ 我らのシルクロード」	「とりもどせ！ 我らのシルクロード」編集委員会 / 「分科別密に明日はない、とりもどせ！ 我らのシルクロード」国鉄を1ガンバレ国鉄労働者1・3・31 全国学生集会 実行委員会	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-354	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1988年3月19日	「JR 学弁の会・運行 (案)」	国労名古屋地方本部	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-355	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1988年3月19日	「静岡 (仮綴)」	事務局	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。
D-356	労働の在り方にかんする学者・弁護士の本 IV-VI = 1987-III = '88	1988/0315	「静岡 (仮綴)」	林田弁護士	新村猛宛名古屋第一法律事務所弁護士若松英成封筒内。 ホチキスで綴じ。
D-357	エスバランツの世界 (「山合歴史」の印字あり)	1995年11月21日	「朝日新聞記事写し」		「大阪の教師らパンフなどを一括で複製」取録。
D-358	エスバランツの世界 (「山合歴史」の印字あり)	1995年8月15日	「[反戦と平和の人物写真集] 断片写」	寺田英夫・石渡延男	新村猛・「世界文化関係」関係。
D-359	エスバランツの世界 (「山合歴史」の印字あり)	3月3日	「新村泰子宛川合歴史書簡」		
D-360	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1986年10月23日	「[The Bertrand Russell Peace Foundation Ltd.] 等一括」		英文資料のコピーを一括でホチキスで綴じ。
D-361	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1986年12月16日	「[The Bertrand Russell Peace Foundation Ltd.] 等一括」		英文資料のコピーを一括でホチキスで綴じ。
D-362	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1987年1月16日	「[The Bertrand Russell Peace Foundation Ltd.] 等一括」		英文資料のコピーを一括でホチキスで綴じ。
D-363	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1985年8月9日	「[The Bertrand Russell Peace Foundation Ltd.] 等一括」		英文資料のコピーを一括でホチキスで綴じ。
D-364	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1975年9月	「[国際問題資料] 論文写し」		ホチキスで綴じ。
D-365	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1987年2月6日	「[GENEVA MONITOR] Number 1 写し」		ホチキスで綴じ。
D-366	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月	1987年2月5日	「[Review of INTERNATIONAL AFFAIRS] 38 号写し」		ホチキスで綴じ。
D-367	佐藤行通師提督資料 一九八七年二月		「[Center for Defence Information] 写し」		ホチキスで綴じ。
D-368	於ニュー・ヨーク核被災者世界大会 八七年九月二六日一〇月三日	1987年4月	「核問の呼びかけ」	核被害者世界大会日本実行委員会	委員会に新村猛の名前あり。
D-369	於ニュー・ヨーク核被災者世界大会 八七年九月二六日一〇月三日		「シンポジウム 核被害をなくすために」	核被害者世界大会日本実行委員会	

新村猛関係資料目録（奥村・須永・福家・藤野）

D-370	於ニューヨーク雑誌英著者世界大会 八七年九月二六日一〇月三日	1987年5月15日	「第2回、第3回作業委員会の報告と呼びかけり人各位へのお願ひ」	核被害者世界大会日本実行委員会 事務局長 加藤徹夫	ホチキスで綴じ。
D-371	於ニューヨーク雑誌英著者世界大会 八七年九月二六日一〇月三日		「私込通知票」	核被害者世界大会日本実行委員会	
D-372	支那の目録学	1926年	「支那の目録学 内藤教授」	新村猛	内藤湖南の講義ノート。 「内藤虎次郎先生遺著ノ年二当り、最後ノ講義也 新村猛記」と記載。
D-373	新村猛氏の口述通訳録（第一回）	1986年7月30日	「新村猛氏の口述通訳録（第一回）」写し	新村猛	
D-374	私の読書通歴		「私の読書通歴」	新村猛	クリップで綴じ。直筆原稿。校正あり。
D-375	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		「著者の言葉」一括		校正あり。
D-376	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		「著者の略年譜」一括		新村猛の略歴。一部に修正あり。
D-377	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		「自叙伝（田次翁）」一括		新村猛の自伝。クリップで綴じ。修正あり。
D-378	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		「誕生以前」		朝日新聞社図書編集室用紙。直筆原稿。
D-379	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		（直筆原稿）		日本社会党機関誌局原稿用紙。 「人は誰でも、この世に生を授けて…」。ホチキスで綴じ。
D-380	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		（直筆原稿一括）		中央公論社及びみすず書房原稿用紙。「江戸城の内…」。
D-381	ワープロ・完成原稿入れ・ 著作集目録		「(O) LINVITATION AU VOYAGE」		ホチキスで綴じ。書き込みあり。
D-382	既発表論考等複写		「フランス文学との前半生」写し	新村猛	クリップで綴じ。タイトルの「と」を「徒」に修正。書き込みあり。 2部あり。
D-383	既発表論考等複写		「フランスに於ける唯物論研究の現状 哲学専攻者のための一報告」写し	新村猛	
D-384	既発表論考等複写		「江戸ソ友好観音をどう進めるべきか」写し	新村猛	書き込みあり。ホチキスで綴じ。 4部あり。
D-385	既発表論考等複写		「権現さまと私」写し	新村猛	
D-386	既発表論考等複写		「終戦後の書物と古本屋」写し	新村猛	書き込みあり。綴で綴じ。
D-387	既発表論考等複写		「ヨーロッパの古寺巡礼」写し	新村猛	ホチキスで綴じ。書き込みあり。 2部あり。
D-388	既発表論考等複写	1954年	「私の十代」写し	新村猛	書き込みあり。
D-389	既発表論考等複写	1966年10月	「私が勉学した環境」写し	新村猛	書き込みあり。
D-390	既発表論考等複写	1983年	「猛という名前の因縁」写し	新村猛	ホチキスで綴じ。書き込みあり。 クリップで綴じ。校正あり。
D-391	一平和活動家の反省		「一平和活動家の反省 ロマン・ロラン生涯百周年に際して」	新村猛	クリップで綴じ。
D-392	草稿など	1949年4月	「人生のための読書」写し	新村猛	ホチキスで綴じ。書き込みあり。 2部あり。
D-393	草稿など		「私の讀書時代」校正写し	新村猛	
D-394	草稿など		「著者の言葉」		
D-395	草稿など		「著者の略年譜」		
D-396	草稿など		「ロマン・ロラン」編集と校正に関する要項」写し		ホチキスで綴じ。書き込みあり。
D-397	草稿など		「私にとっての大学」校正写し	新村猛	ホチキスで綴じ。
D-398	草稿など	1946年10月1日	「同志社学生新聞 昭和十一年十月一日 文明と文化」		
D-399	草稿など		「自筆及び口述筆記による「自叙伝」原稿」	新村猛	直筆原稿を一括して同題の紙で包む。 クリップで綴じ。
D-400	「自叙伝」関係		「自叙伝」		クリップで綴じ。
D-401	「自叙伝」関係		「自叙伝原稿」		クリップで綴じ。書き込みあり。
D-402	「自叙伝」関係		「自叙伝原稿」		クリップで綴じ。校正あり。
D-403	「自叙伝」関係		「小説写し」		「朝ふが如く 七巻」とペン書き。
D-404	「自叙伝」関係		「龍川龍喜」写し		
D-405	「自叙伝」関係		「自叙伝原稿」		

D-406	朝日新聞名古屋本社 「高校生のための本」 新書版のための口述筆記					しんむら	「名古屋—モスクワ ロシアの良心を忘れるな」収録。ホネキスで綴じ。 「らくた書房 内野氏依頼による「高校生のための本」新書版のための口述筆記」岩田光弘氏による」と記載。
D-407	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1941年5月20日	〔包紙〕				
D-408	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1941年5月20日	「フランスは遂に敗けた」			アンドレ・モーロワ著・新村猛講述/博朗堂	
D-409	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年2月22日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔①「世界文化」に二回連載…〕。クリップで綴じ。
D-410	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年3月18日	「②人間の生き方」				新村猛インタビュ어의文字起こし。 直筆原稿。クリップで綴じ。
D-411	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年3月22日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔③この前、私は存続に…〕。クリップで綴じ。
D-412	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年3月23日	〔直筆原稿〕				〔③とにかく、生と死の問題は…〕。クリップで綴じ。
D-413	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年3月27日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔④私は、まさに、どうして…〕。クリップで綴じ。
D-414	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年4月6日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔⑤ここで、あともどりをして、…〕。クリップで綴じ。
D-415	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年5月4日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔⑥ずっと前に、私が敗戦の…〕。クリップで綴じ。
D-416	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1976年6月12日	〔直筆原稿〕				新村猛インタビュ어의文字起こし。 〔⑦私は、これまでに少年時代に…〕。クリップで綴じ。
D-417	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1977年10月14日	「友権について」				新村猛インタビュ어의文字起こし。 直筆原稿。クリップで綴じ。
D-418	「高校生のための本」 新書版のための口述筆記	1982年11月7日	〔直筆原稿〕			岩田光弘	新村猛宛。口述テープ記録前の覚書。 「今日は一日、明日からの…」。